

情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP)
第1回理事会 議事録

1. 日時

2011年6月6日(月) 16:00～17:40

2. 場所

ネットワンシステムズ株式会社 東北支店
(宮城県 仙台市 青葉区)

3. 出席者

(1) 理事総数 18名

(2) 出席者 13名

代表理事

会津 泉 酒井 紀之 松崎 太亮

副代表理事

会田 和子(途中参加)

事務局長

岸原 孝昌

理事

荒木 紀子(skype参加) 臼井 公孝 河合 孝彦(skype参加)
呉 旻立(skype参加) 地主 雅信 柴田 義孝 高橋 正憲(途中参加)
藤川 大祐

(3) 委任状提出者 4名

代表理事

岡本 真(6/3 議長へ委任)

理事

荒川 眞三(6/5 議長へ委任) 内藤 清吾(6/5 議長へ委任)
藤代 裕之(6/1 議長へ委任)

4. 審議事項

- (1) 議案 1 設立総会で選任された代表理事、副代表理事、事務局長を承認する件
- (2) 議案 2 会員制度及び組織運営について
- (3) 議案 3 コーディネート及びプロジェクトの承認プロセスについて
- (4) 議案 4 コーディネート及びプロジェクトの承認について
- (5) 議案 5 行動規範について
- (6) 議案 6 理事の役割分担
- (7) 議案 7 iSPP 応援チーム等の検討について
- (8) 議案 8 その他組織運営に関する意見交換

5. 開会、議長、議事録署名人の選任

理事 18 名中、13 名の出席(skype 参加 3 名、途中参加 2 名)、委任状 4 名があり、定款第 37 条に基づく理事会成立(理事の過半数の出席)を岸原事務局長が報告。

議長として会津代表理事が選任された。

議事録署名人として酒井代表理事、松崎代表理事が選任された。

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 事務局報告

- 1: 設立総会の報告(資料 1、資料 1-2、参考資料)

【報告事項】

「資料 1 情報支援プロボノ・プラットフォーム(iSPP)設立総会議事録」について報告。

「資料 1-2 東北事務局ミーティング」について報告。

【質疑事項】

6/19「ICT 復興支援国際会議」に iSPP として出展するため、準備を進める。

東北地方での、iSPP の活動についての告知、理解を進めていく。

被災地、iSPP のカウンターパート間のマッチングを行い、ビジネスや復興支援につなげていきたいが、どうつなぐのかが課題となってくる。

東北事務局側にも、ストリーミングに詳しい方に参加してほしい。

東北地方での通信手段としては、WiMax はほとんど利用できないため、イーモバイルを利用することになりそう。

東京事務局と東北事務局の関係は、上下のイメージではなく、横の関係がよいのでは？

→ 東北事務局側としては、負荷という面から上下のほうが楽。

→ あくまで中心は被災地側であってほしいということもあるため、当面はそれぞれが自立的に動き、情報のギャップなどに注意を払いながら活動実態に合わせていく。

東北事務局の事務所については、仙台以外の場所に設置する場合は、定款の変更を行えばいい。

→ 設置については、東北事務局側で検討する。

東北事務局からの情報発信として、WEB サイト、メルマガを利用することを想定。配信タイミングとしては、月 2 回程度。東京事務局と協力して情報発信を進めていく。

【報告事項の承認】

報告事項「資料 1」、「資料 1-2」の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

2: 会員及び寄付の状況(資料 2)

【報告事項】

「資料 2 6/6 現在会員登録状況」について報告。

次項「3: 事務局等の運営について」とあわせて報告する。

3: 事務局等の運営について

【報告事項】

現在、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)への業務委託にて運営している。

業務委託の条件の決定については、6 月迄の状況を踏まえ定款第 20 条に基づき理事会の議決を経て、代表理事が行う。

iSPP の組織運営のため、事務局チーム、東北事務局チーム、WEB チーム、広報チームの 4 チームを設営している。

【質疑事項】

事務局チームは、基本、事務局会議に参加した人で構成。毎回10～20名程度の参加がある。ボランティアとして、経費の発生しない形でとりあえずはやっている状況。

MCFについては、会議室等のリソースを利用しているため、いくらかは支払わなければならない。今後、予算シミュレーションを行い、理事会に提案を行う。

【報告事項の承認】

報告事項「資料2」、「事務局等の運営について」の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

4: 予算シミュレーション(資料3)

【報告事項】

「資料3 初年度予算案」について報告。

6月迄は、minimumバージョンの予算執行として、7月理事会にて予算計画を決定する。

【質疑事項】

最終的には、資料3 P.2の年間2500万円程度の収入を目指していきたい。

6月末までの目標としては年間600万円程度の収入の63%くらいを目指していきたい。ただ、これくらいでは強力に運営していくのは難しい。

MCFへの事務委託金額については、6月、7月の状況をもって決めていきたい。契約内容については、予算書とあわせて理事会へ提案する。

総会での予算書はあくまでも骨格予算であり、執行できるかは厳しいと考えているが、収入が少なくとも破綻することのないようにしていきたい。

助成金への申請については、三菱商事への申込を行った。他の助成金への申請については、団体として重複して申請できなかつたり、3年以上の活動実績が条件となっている場合がある。そういった場合は、いったん他の団体に申請していただき、そこで助成金を受けるというのも考えられる。

事業収入については、情報行動調査の案件で多摩大学を經由することになるが300万円程度の収入を見込んでいる。ただ、経費として200万円程度必要となるため、粗利としては少なくなる。情報調査については、マルチクライアント方式のシンジケート調査とすることで収入を得ることも検討している。

収入については、寄付をふくめ、助成金の申請を積極的に行っていく。

【報告事項の承認】

報告事項「資料3」の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

(2) 議案1 設立総会で選任された代表理事、副代表理事、事務局長を承認する件

【議案概要】

設立総会にて代表理事、副代表理事、事務局長が選任されているが、代表理事、副代表理事について、定款第13条(理事の互選)に基づき本理事会にてあらためて承認を行いたい。また、事務局長について、定款第20条(理事のなかから理事会によって選任)に基づき本理事会にてあらためて承認を行いたい。

代表理事

会津 泉 岡本 真 酒井 紀之 松崎 太亮

副代表理事

会田 和子

事務局長

岸原 孝昌

【質疑事項】

代表理事が4名というのは違和感を感じる。組織の顔としての代表理事が複数いるというのは多い気がする。なぜ複数なのか説明をお願いしたい。

→ 代表理事がそれぞれ、神戸、東京、仙台の拠点ごとにいることで、たとえば仙台で行政になにか届け出をしないといけないとなったときに、組織の代表が地理的に近い場所にいたほうが届けやすかったりするという地理的なメリットがある。

また、他のNPO等の組織でも、代表が複数いたりするが、1人の代表がフルタイムで活動できない場合などに、他に代表がいることで活動を継続できるという点もメリットとなっている。

定款の中で、「代表理事が任命する」(定款第19条、20条など)とあるが、代表理事が複数いる場合は、どういった運用を行うのか？

→ 代表理事はそれぞれが独立しているため、どなたかお一人が承認すれば任命となる。

【議案の承認】

議案1 設立総会で選任された代表理事、副代表理事、事務局長を承認する件について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(3) 議案2 会員制度及び組織運営について

【議案概要】

「資料4 プロボノ登録、多対多のプラットフォームに向けて」について説明。

年会費を必要とする正会員・賛助会員以外の、純粋に「プロボノ」としてプロフェッショナルな知識、技能を提供してくれる人が参加できる何かしらの枠を作り、iSPPへの参加者の裾野を広げていきたい。

ただし、無料の「プロボノ登録」枠を用意することで、有料の正会員にとってのメリットやモチベーションについての考慮が課題となってくる。

多対多のプラットフォームについては、NPOと企業のマッチングにおいては、平時からの取り組みが必要ということで、プラットフォームの構築を行っていきたい。

【質疑事項】

がれき撤去の現場でも、技術を持った人はいても、その人たちをまとめる人がいないといったマネジメントが課題となっている。そういった場合に、技術者とマネジメントできる人をマッチングできればいいと思われる。

正会員むけのメリットとして、正会員しか見れないレポートなどを用意するというのも考えられる。

「プロボノ」への期待としては、例えば被災地へ取材をしたりするとき、どういったことを見たり、聞いたりするのがいいかというテクニックが得られるといいかもしれない。

「プロボノ」であれば、行政が調査しにくい部分についてかわりに調査するといったことも可能かと考える。

【議案の承認】

議案2 会員制度としてプロボノ登録制度の設置、多対多のプラットフォームの構築について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(4) 議案3 コーディネート及びプロジェクトの承認プロセスについて

【議案概要】

「資料5 iSPP プロジェクトテンプレート」について説明。

現段階は、提案者から提出されたプロジェクト企画書を理事会にて承認する。今後、被災地の現状等にあわせて現場に負担をかけないことも考慮したフィージビリティスタディを行い「参考資料 プロジェクト等管理規定、PM テンプレート」のような詳細なフローを構築する。

具体的な例として、次の議案4の資料6として「情報行動調査」プロジェクトのプロジェクト企画書を用意した。こういった企画書をもとに、理事会での承認をすすめていくことを考えている。

【質疑事項】

企画書をはじめとしたこれらのプロジェクトテンプレートは、支援のための様々の活動をやりやすくすることを狙いとしている。
これから意見を聞きながら内容を調整していく必要があると考える。

実際に「情報行動調査」プロジェクトのプロジェクト企画書を書いた際、はじめは面倒だと感じたが、このプロジェクトを他の人に説明しなければいけないということを考えると、なるほどと感ぜられるところがあった。

使って行きながら調整していく必要があるが、大枠としては問題ないと考える。

このフローの中では、人事権は誰が持つのか？

→ 原則として、リソースをアサインするのはポートフォリオマネジメント側となる。リソースが足りない等の問題が出てきたときは、PMからポートフォリオマネジメント側へリクエストを投げてもらおう形となる。
こういった運用面については、ルール化が必要となるため、これから検討していきたい。

【議案の承認】

議案3 コーディネート及びプロジェクトの承認プロセスについての大枠の方向性について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(5) 議案4 コーディネート及びプロジェクトの承認について

【議案概要】

「資料6 情報行動調査プロジェクト企画書」については、議案3の中で説明済み。

【議案の承認】

議案4 コーディネート及びプロジェクトの承認についての大枠の方向性について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(6) 議案5 行動規範について

【議案概要】

「資料7 iSPP 行動規範 案」について説明。

行動規範の素案として用意した。第一に、どちらの方向を向いているかということで、被災地のことを記載した。会員や役員の関係については、つい熱が入って言い争いになったりすることがないように、それぞれお互い横の関係であることを規範としていきたい。利益相反についても記載したが、所属している両方の組織のバランスをどう考えるかという点が難しい。

【質疑事項】

利益相反については、場合によっては理事の所属している企業などをお願いすることが有益であったりするため、理事会で議決するといった適切な承認プロセスを用意することが必要かと考える。
ただ、「理事会で承認する」といった表現は、行動規範に入れるものではないため、別途、内規、理事会のルールとして準備していきたい。

行動規範に「被災地の復興支援をしていきます」といった表現が入ると、役所などからみると、すんなり理解されやすい。

実際にプロボノとして活動する場合に肝となってくることとして、本業とプロボノ活動とのバランスという点がある。
プロボノ活動に熱中しすぎると、このバランスをくずしやすい。
そういったことを避けて、社会の中で「プロボノ」活動の信頼性を高めていくためにも、プロボノ精神を尊重し、ワークライフバランスを保って行動するといったことが規範としてあってもいいと思う。

行動規範については、様々な意見があると思われるため、宿題事項とし、後日決議する。

【議案の承認】

議案 5 行動規範の決定については、宿題事項として決議を保留し、あらためて決議の場をもうける。

(7) 議案 6 理事の役割分担

【議案概要】

「資料 8 理事の担当について」について説明。

iSPP の組織運営を責任ある運営体勢にするためには、各理事が運営に必要な役割をそれぞれ分担することが重要となってくる。各理事がどの分野を担当するかということを検討したい。

【質疑事項】

法務担当についてはどう考えるか？

→ 法務については、理事でない方をお願いするのがいいかと考えている。定款上(定款第 19 条)、顧問を置くことができるため、弁護士の方などに顧問をお願いして、法務をご担当いただくということを想定している。

担当については、ひとつの担当にひとりの理事ということにはならないようにしたい。

理事の皆さまの意見としてなにかあるか？

→ 理事の役割分担については、事務局長に一任したい。

【議案の承認】

議案 6 理事の役割分担を、事務局長に一任することについて承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(8) 議案 7 iSPP 応援チーム等の検討について

【議案概要】

iSPP の活動を広げていくにあたり、理事だけではなく様々なコネクションを通じた広がりが必要かと考えている。

会員、賛助会員という参加制度に加え、プロボノ登録という参加制度を準備していく予定だが、それらとは別に、iSPP の活動を応援、支援していただく方を iSPP 応援チームとして募集していきたい。

【質疑事項】

イメージが湧きにくいかもしれないが、たとえば、「あいつらなんかいいことやってるよね、あいつらをなんとかサポートしてやらなきゃ」ということで、スポンサーの紹介や、アイデアの提供をしてくれるような人たちを想定している。

iSPP を理解してもらうための資料としては、入会案内の資料を用意している。

この入会案内の資料については、内容として支援を行いたい側向けのため被災地側で配るのは抵抗がある。資料を準備するにあたっては、その場、その場に応じたものがあつたほうがいい。

被災地側向けの資料については、至急準備したい。

【議案の承認】

議案 7 応援チームの検討について概略の承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(9) 議案 8 その他組織運営に関する意見交換

【議案概要】

理事の皆さまから一言ずついただきたい。

福島県いわき市の被災地側にいる。風評被害が大変で、なかなか解決の糸口が見えず、一人ではなんともできないと感じている。ぜひ、専門家の方々をはじめとした皆さまからの、心の応援や、様々な応援をいただき、当事者として動いていきたい。

先日、東北事務局の会議に参加した際、「プロボノ」とはなにをするものか？という疑問をもっていたが、今日、この会議に参加したことで、だいぶはっきりした感じがする。役割分担の話がでていたが、いかにうまくまとめていくかというところが、ポイントになってくると思う。

縁の下の力持ちという気持ちで頑張りたい。

「プロボノ」という感じではなく、なにができるか？ということを探索しながらやっていきたいと思う。

岩手からは今のところ私一人。現場に入って情報インフラの復旧をやっているが、フェーズ2に入ったという感じがする。仮設住宅などにNTTの回線が入ってきて復興に向けた動きが始まってはいるが、そういった動きが被災者側にうまく伝わっていない感じがする。そこのあたりをわれわれが何かお手伝いできればと考えている。

メディア関連の仕事を30年近くやってきている。iSPPの趣旨にのっとり、被災地ニーズと支援グループをつなぐというところを、広報面から関わっていきたい。iSPP以外でも、災害に強い自治体システムの参照モデルを作るというプロジェクトを推進しており、いずれそことiSPPをブリッジできればと考えている。

あと、エンタープライズとコーポレートにフォーカスしているIT系のメディアで、5月から被災地の企業のITでの被災状況と復旧というところにフォーカスして調査を始めている。いずれ100サンプルほど集めてレポートしたい。これもどこかでiSPPの活動にマージしていくような形にできればと考えている。

iSPPに期待すること、こういう風になってほしいと思っていることは、まず、プロボノ、企業、行政を取りまとめるという役割。また、被災地でITのリテラシーが高くないと言われている人たちに、iSPPのプロジェクトに関わっていただくことで将来のICTの支援ができる人材を育成していくような団体にもなってほしい。リソースや情報をうまくまとめていけるような団体になればと思っており、そうなれるように、理事として活動していきたい。

行政から参加させていただいているが、強く感じているのは、今回の自治体の破綻が非常に復興の妨げになっているというところが、阪神大震災と全然違うという点。復興にむけて自治体とのつなぎ役をプロボノとしてできないかと感じている。行政にいる側として、自治体と繋いでいくところのトランスレーションの役目を果たせていけたらと思っている。

7. その他事項

岡本代表理事よりコメントを頂いている。活動状況なども書かれているので、各自読んでおいてほしい。

次回の理事会については、そう遠くない時期に行きたい。場所としては、福島郡山など、なるべく被災地の skype が繋がる場所で行ってほしい。

8. 閉会

以上をもってすべての審議を終了したので、議長は閉会を宣言し、解散した。

9. 議事署名

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

2011年6月6日

情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP) 第1回理事会

議長 会津 泉

議事署名人 酒井 紀之

議事署名人 松崎 太亮